

7月6日は『狂犬病ワクチン』が初接種された日です!!

1885年（明治18年）7月6日、**フランスの細菌学者ルイ・パスツール**（1822～1895年）が開発した『**狂犬病ワクチン**』が初めて少年に接種されました。



ワクチンとは、感染症の予防に用いる医薬品を指し、病原体から作られた弱い抗原を敢えて体内に投与することで、病原体に対する免疫を作る効果があります。

パスツールは、感染症にかからないようにするために、**ワクチンによる予防接種という方法を開発**し、狂犬病や炭疽菌、ニワトリコレラなどのワクチンを開発しました。

【狂犬病とは、どんな病気？】

狂犬病ウイルスが原因となり、人と（ほとんどすべての）哺乳類に感染する伝染病です。

人が狂犬病ウイルスに感染・発症した場合の死亡率はほぼ100%といわれ、「人類にとってもっとも恐るべき感染症の一つ」とされています。

また、狂犬病を媒介する動物は、イヌだけではなく、ネコ、コウモリ、キツネ、アライグマなどほとんどの哺乳類です。

日本における狂犬病の人の最終発生は1956年（昭和31年）でしたが、2020年フィリピンから来日した外国籍の男性が日本へ入国後に発症、死亡したのは記憶に新しいことです。

2010年2月には、「ニューヨークのマンハッタン地区に狂犬病に感染したアライグマが入りこんでおり、人が噛まれる被害が発生した」というユースが報道されています。

世界中で狂犬病が撲滅されたという清浄国は、日本、オーストラリア、アイスランド、ニュージーランド、ハワイ、グアム、フィジー諸島のみ（平成25年7月厚生労働省調べ）であり、現在でも年間、全世界で約50,000人ほどの人が亡くなっていると言われています。

【狂犬病に関するQ & A】

Q 1 狂犬病は人にも感染するのですか？

A 1 狂犬病はすべての哺乳類に感染することが知られており、もちろん人も例外ではありません。人も動物も発症するとほぼ100%死亡しますが、人では感染後(感染動物に咬まれた後)にワクチンを連続して接種することにより発症を防ぐことができます。

Q 2 狂犬病が発生している国はどこですか。

A 2 狂犬病は日本、英国、オーストラリア、ニュージーランドなどの一部の国々を除いて、全世界に分布します。つまり、海外ではほとんどの国で感染する可能性のある病気です。

Q 3 どのような動物から感染しますか。

A 3 感染動物すべてから感染する可能性がありますが、主な感染源動物は以下のとおりです。中でも、犬が人に対する主な感染動物です。

アジア、アフリカ；犬、ネコ

アメリカ、ヨーロッパ；キツネ、アライグマ、スカンク、コウモリ、ネコ、犬

中南米；犬、コウモリ、ネコ、マングース

Q 4 どのくらいの人が狂犬病に感染して亡くなっているのですか。

A 4 世界保健機構（WHO）の推計によると、世界では年間におおよそ5万5千人の人が亡くなっています。また、このうち3万人以上はアジア地域での死亡者と言われています。

Q 5 日本ではどのくらい発生していますか。

A 5 日本国内では、人は昭和31年（1956年）を最後に発生がありません。また、動物では昭和32年（1957年）の猫での発生を最後に発生がありません。

現在、日本は狂犬病の発生のない国です。

Q 6 狂犬病に感染した人から感染しますか。

A 6 通常、狂犬病が人から人に感染することはありません。これまでに臓器移植による感染が認められていますが、非常にまれな事例といえます。

Q 7 犬に咬まれました。狂犬病に感染しますか。

A 7 日本国内の場合、狂犬病は発生していないので感染の心配はありません。

海外、特に東南アジア等の流行国で狂犬病が疑われるイヌ、ネコおよび野生動物に咬まれたりした場合、まず傷口を石鹸と水でよく洗い流し、できるだけ早期に医療機関を受診して下さい。

2022年7月7日

福岡ワンヘルス協議会・事務局